



わたうち



今月もたくさんの学校内外の行事や体験学習があり、児童の活躍する姿や熱心な取組が見られました。人権集中学習では、いじめ防止について考え、自己を見つめ自分の言動を振り返りました。12月は、オールぐんま「いじめ防止強化月間」です。ぐんまの子ども「いじめ防止宣言」には「勇気・思いやり・協力」が掲げられています。

明日から師走。朝夕の寒気が身にしみるようになってきました。家庭学習強化週間や漢字・計算・活用大会もあり、各学級とも2学期のまとめに取り組みます。

2年・4年発表 音楽集会 11/7(水)

2年生は、「山のポルカ」の歌と器楽演奏を元気に発表し、4年生は、翌日に行われる小中学校音楽発表会のリハーサルを兼ねて、リコーダー奏「カントリーロード」と二部合唱「旅立ちの時」を披露しました。

4年生は、発表会当日も息の合ったきれいな音色でリコーダーを演奏し、難しい旋律にも美しいハーモニーで声を響かせて、聴衆の心を動かしました。



5年 エコムーブ号で環境学習 11/7(水)

県の事業で「動く環境教室」が行われました。環境学習サポーターからパネルやサンプルで説明を聞いた後、COD パックテストで家庭排水が河川を汚す原因になる実験をしたりペットボトルから繊維をつくったりしました。私たちの生活は環境問題と密接につながっており、身近なことから環境への負荷を減らせることやリサイクルでゴミを出さない工夫ができることを確かめました。



6年 租税教室 11/7(水)

館林税務署の方を講師に招き、税金について学習しました。DVDを視聴して説明を聞いたり講師の質問に答えたりしながら、税金の種類や用途について知りました。税金は、学校や公共の施設、教育、医療、道路整備などに使われ、社会生活には納税が欠かせないことを学びました。



3年 社会科見学 11/7(水)

綿打地区のトマト農家を訪れ、栽培の様子を見学しました。おいしいトマトを育てるためにどのような仕事をしているか、工夫していることや苦勞していることは何かなど説明を聞いたり質問したりして、熱心にメモを取りました。生産者の方のトマトに込める思いも知りました。



1年 初めての持久走大会

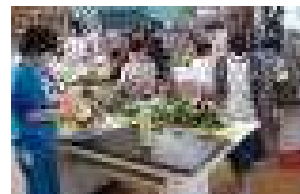
14日(水)、校内持久走大会が行われました。体育や朝運動、休み時間に練習をしてきた成果を発揮して、自分の目標タイムで走りきることができました。

1年生にとっては初めての持久走で、1ヶ月半の練習をとおして体力の向上につながりました。



土曜スクール 11/10(土)

講師をお招きしてフラワーアレンジメント教室が行われ、1～6年生の23名が参加しました。色とりどりの花や葉、茎をうまく組み合わせて丸い形や花束を横に寝かせたような形にアレンジし、どれも見事な出来映に仕上がりました。



アイデア料理 給食に登場

「新田の野菜を使って料理を作ってみよう」で6年生が考えたアイデア料理2品が、11月の給食献立で提供されました。どちらもおいしくいただきました。



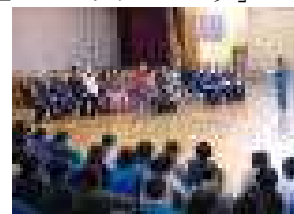
11/6 ガバオライス



11/21 野菜のオープン焼き

感謝の集い 11/21(水)

児童集会で、読み聞かせや防犯サポーター、スクールサポーターのボランティアさん、交通指導員さんなど地域の方々をお招きしました。代表児童がお礼の言葉を述べ、全校児童で「ありがとう」の歌を歌って、日頃の登下校の見守りや学習支援などへの感謝の思いを伝えました。



人権標語小学生の部最優秀賞 「笑顔から ひろがるつながる あたたまる」

27日(火)、「人権フェスティバルおおた 2018」で児童生徒人権標語・ポスター作品表彰式が行われ、綿打小の6年生が最優秀賞で表彰されました。

全作品は、太田市社会教育総合センター1階ロビーに12/10まで展示されています。

P T A 人権講演会 11/22(木)

学校公開日に合わせ、講師に塚本京子さんをお招きしました。塚本さんは、長年にわたって車いすバスケットボールプレイヤーとしてご活躍され、2000年のシドニーパラリンピックでは、日本代表の中心選手として16年ぶりとなる銅メダルを獲得しました。現在は、日本車いすバスケットボール連盟(JWBF)の女子委員会強化担当を務めています。



塚本さんは、ご自分で自動車を運転され、車いすの出し入れには車の扉を全開にする必要があります。スーパーなどでは、専用駐車場が少ないこともあります。隣に駐車した車とのスペースが狭いと乗り降りが困難になってしまいます。誰もが住みやすく暮らしやすいまちであるためには、人への思いやりと気遣いが大切であることを話されました。また、競技用の車いすで本物のプレーも見せてくださいました。選手としてたくさん練習を重ねたお話や全員が手に触れた銅メダルの重みは、思いやりの心の大切さとともに勇気となって一人一人の胸に刻み込まれたことと思います。

